

経営比較分析表（令和3年度決算）

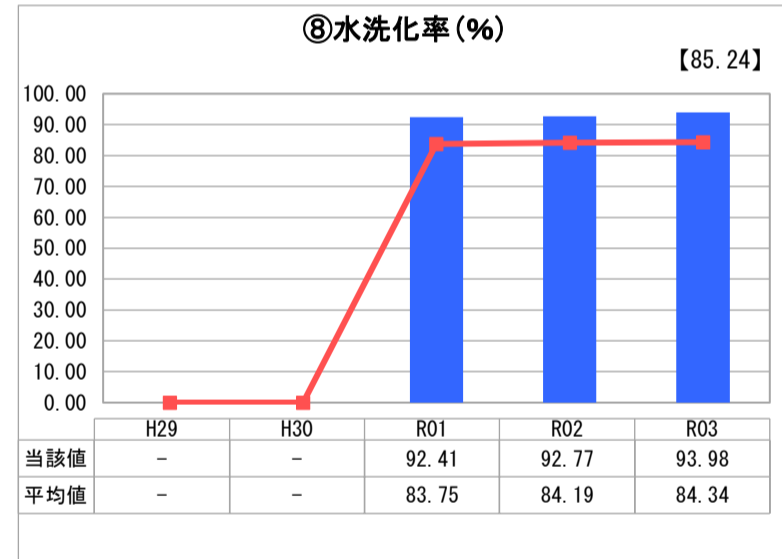
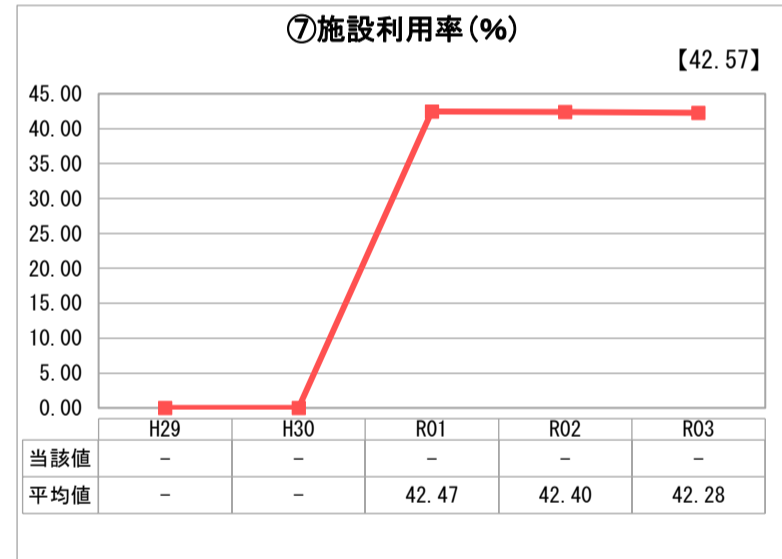
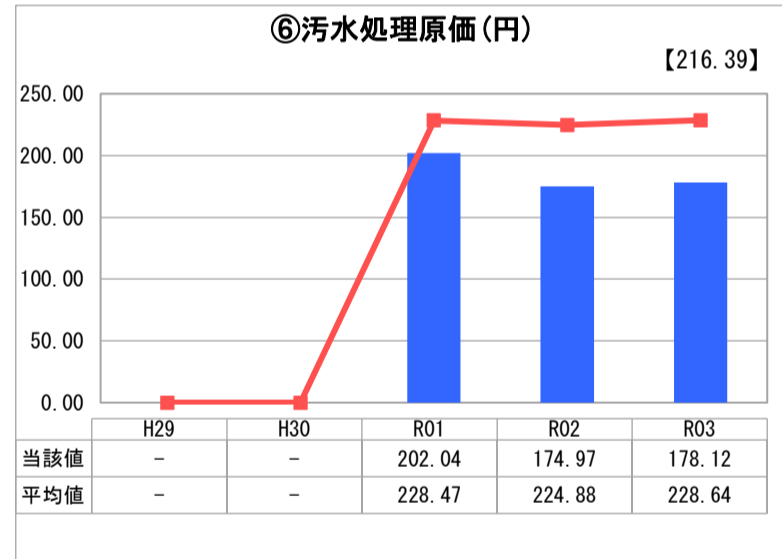
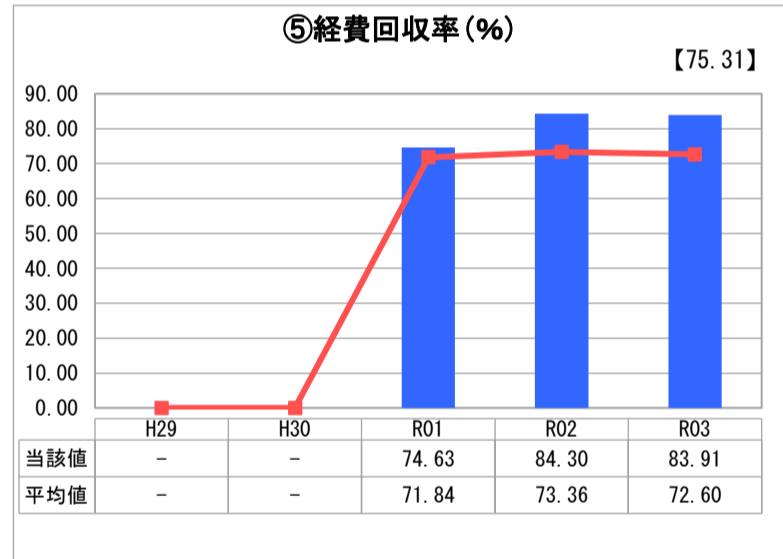
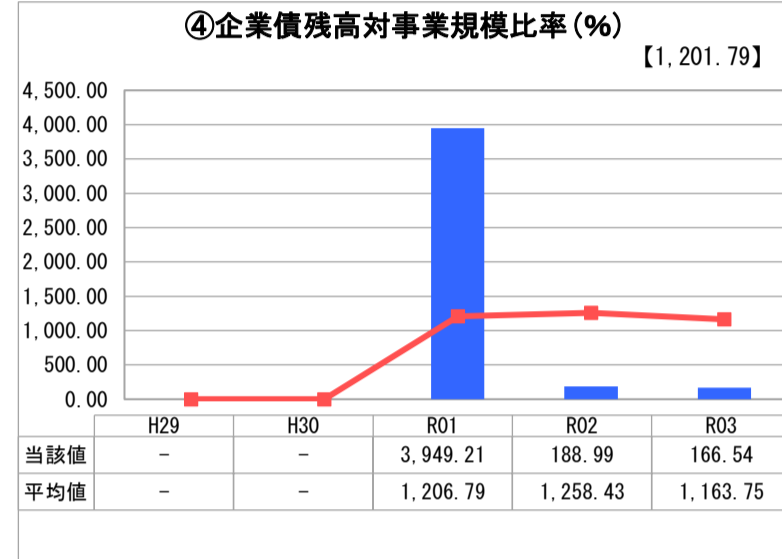
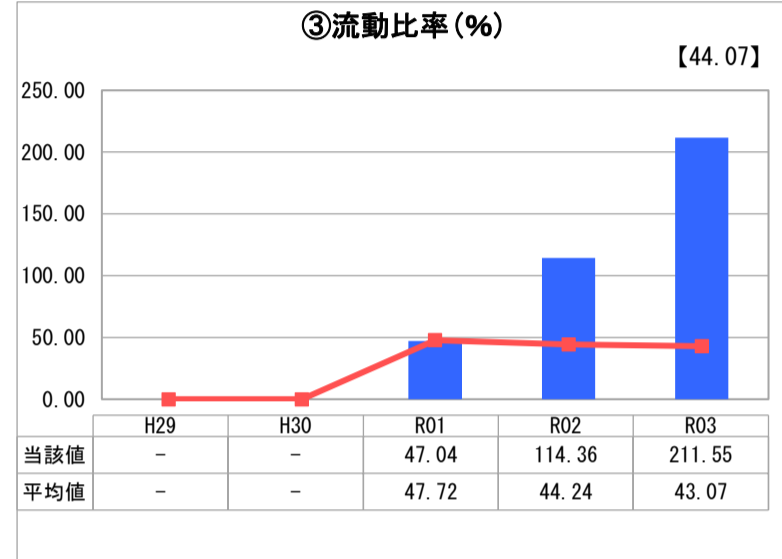
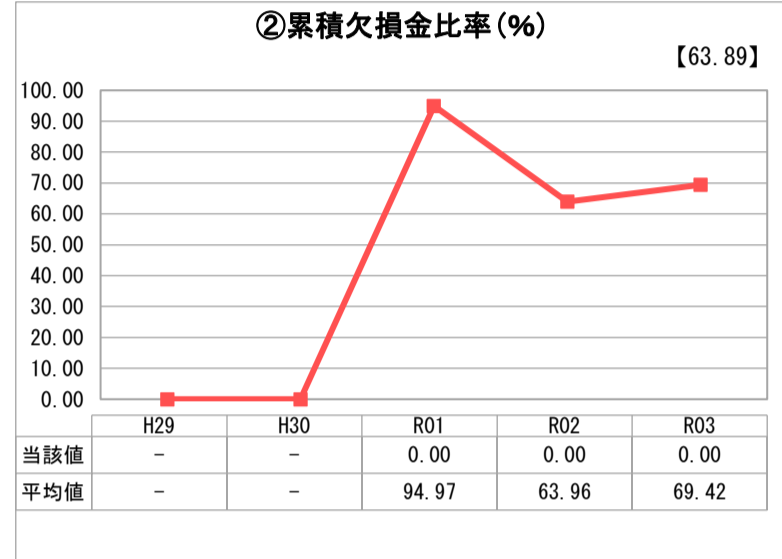
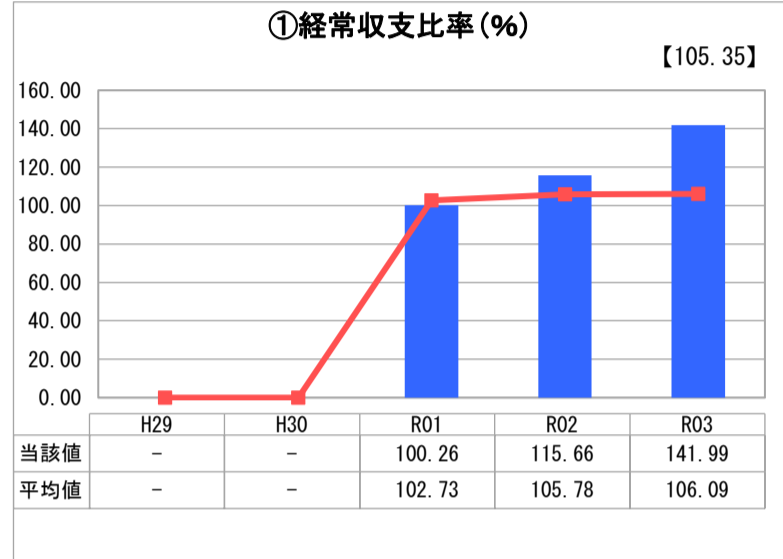
福岡県 久山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.71	0.90	100.00	3,080

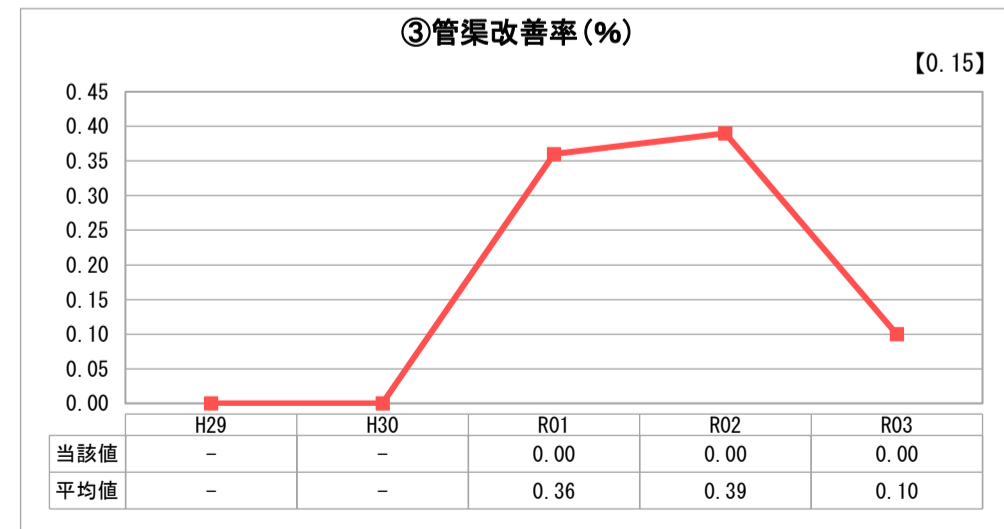
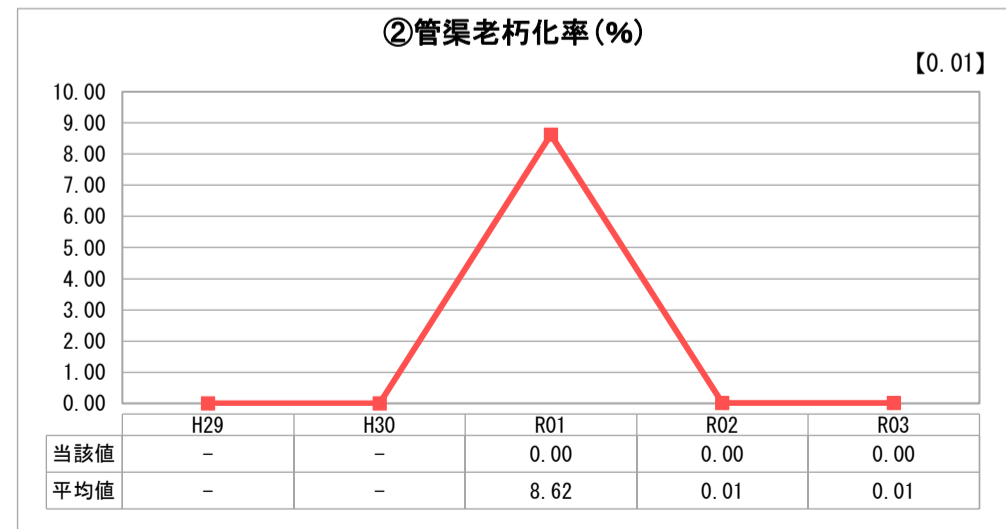
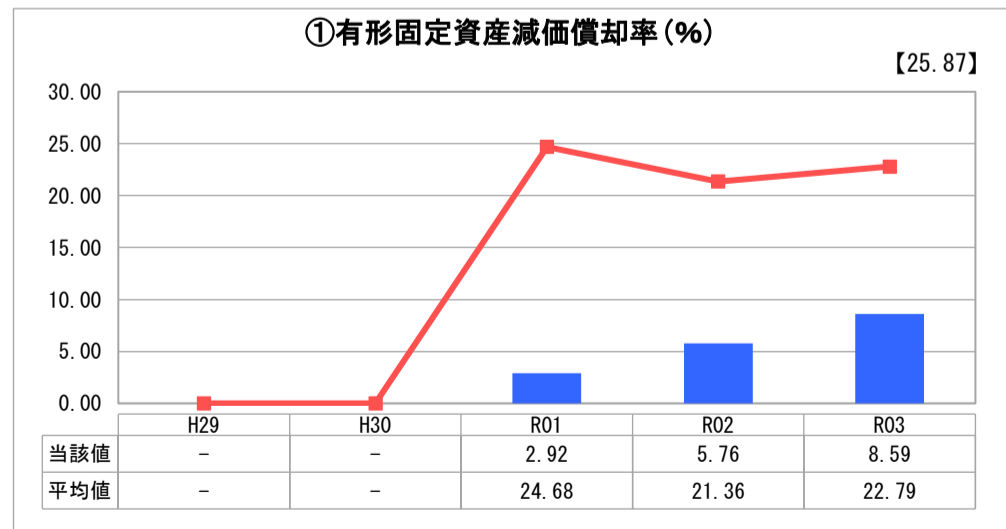
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,209	37.44	245.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
83	0.06	1,383.33

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

特定環境保全公共下水道事業において事業規模も小さく人口も使用料収入も毎年増減が大きくありません。経費回収率が100%を下回っており使用料収入だけでは賄えておらず一般会計繰入金等による使用料以外の収入に対する依存度が非常に高いことがわかります。今後は高齢化も進み使用料収入が減少していくと考えられますので収支投資計画等を見直し経営状況も現状維持できるように努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

公共下水道と同じく耐用年数に近づいてきており今後、下水道管の更新に備えて収支投資計画を見直ししていく。

全体総括

高齢化や人口減少が進むため使用料収入は減少することが想定されるが、下水道管の老朽化は進み更新していかなければならない。そのために収支投資計画を見直し、老朽化に備え準備をしていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。